

(令和4年度第2次補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 荒尾市 (都道府県: 熊本県)  
本事業の担当部局名 すこやか未来課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり_機運醸成事業				
区分	一般メニュー				
関連事業メニュー	3.1.1 男性の家事・育児参画促進、配偶者の出産直後の男性の休暇取得促進				
個別事業名	プレパパクラス	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続		
実施期間	交付決定日 ~	令和6年3月31日	事業開始年度	H30	年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	81,952 円				
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け)</p> <p>本市の現状として、合計特殊出生率は平成30年1.79%、令和元年1.62%、令和2年1.58%と年々減少傾向にある。また、出生数について令和元年には初めて400人を割り込む状況となり、年々減少している。また、20歳代・30歳代の女性人口の確保が重要であるものの、当該世代の転入・転出状況は年間70人程度の転出超過となっており、このことが出生数の減少の一因となっていると考えられることから、本市の子育て環境としての魅力を高めていく必要がある。</p> <p>【基本施策】 ① 若い世代の結婚希望の実現 ② 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 ③ 子育てしやすい環境づくり ④ 魅力ある教育環境の実現となっており、その中で、本個別事業は②の「妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援」に位置付けられた取組となっている。</p> <p>(本個別事業における現状と課題)</p> <p>母子保健事業のデータから「積極的に育児をしている父親の割合」が、令和3年度は64.6%であり、約3割の母親は父の協力が得られないことで、育児不安や夫との関係に悩んでいる。また、市のアンケート調査から、2人以上を希望する割合は77.4%に対し、実際の子どもの数が2人以上の割合は64.9%と、希望する子どもの数より実際の子どもの数の方が少ない傾向にある。理由の1つに「夫(妻)の家事・育児への協力が得られないから」と回答した割合は6.5%で、男女別でみると男性2.1%に対し、女性9.5%と男女の差異が見られた。夫の家事協力が充分ではなく、妻の負担が増えることで、出産を希望しない家庭の増加が懸念される。また、コロナ禍のため、産婦人科の両親学級等が中止になっており、妊娠期から出産までの不安を抱えている妊婦が多い現状にある。また、家事技術(料理)に関する内容が少ないというアンケート結果があり、内容の充実が課題となっている。</p> <p>(課題への対応)</p> <p>妊婦の夫が母体の変化や子育てに関して理解できるよう、昨年度実施アンケート結果を踏まえ、<b>育児の方法や家事技術(食事レシピや調理過程の動画)を学習できるような事業内容を充実させ</b>、積極的に家事や育児に取り組むことができると、またコロナ禍における出産や出産時の父親の役割などを含めて、教室内容を構成する。</p>				
個別事業の内容 ※(注)3	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	プレパパクラス	<p>男性の育児参画促進を目的として、妊婦のパートナーを対象にプレパパクラスを実施する。</p> <p>(1)対象者及び参加人数 妊婦とそのパートナー 各日8組(午前4組・午後4組) ※感染拡大予防のため、人数を制限して実施</p> <p>(2)事業内容 ・講話・妊婦体験・実技(沐浴、着替え、おむつ交換、抱っこ体験) ・家事技術を身に着けるため、<b>食事レシピや調理過程の動画</b>などを通して、より具体的に説明する。</p> <p>(3)実施日 隔月1回</p>	○	○
【次年度以降に向けた事業の方向性】 令和5年度に実施した事業の成果やアンケート(事業の内容、周知方法)を基に、次年度以降の実施方法について検討する。					
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 特になし					

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目	単位	目標値	現状値
	母子保健事業に満足している人の割合	%	R7年度：60%	R3年度：69.3%
参考指標 ※(注)5	項目	単位	直近の実績	
	合計特殊出生率	%	令和2年：1.58	
	婚姻件数	件	令和2年：180	
	婚姻率		令和2年：3.5	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値
	〈アウトプット〉			
	参加目標人数(人/年)	人	R5年度：96人	R3年度：46人
	母子健康手帳交付時に事業について説明した割合	%	R5年度：100%	R4年度：100%(1月末時点)
	〈アウトカム〉			
	父親の育児参加率	%	R5年度：70%	R3年度：64.6%
	イベント満足度(教室参加後に育児に積極的に取り組めると回答した割合)	%	R5年度：100%	R4年度：100%(1月末時点)
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	近隣市町村に住所を有する妊婦又は妊婦のパートナーも対象とし、周知を行う。			
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	無			